

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	基盤ソフトウェア論1		
英文授業科目名	Foundations of Software Systems 1		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報システム基盤学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報システム基盤学専攻		
担当教官名	多田 好克		
居室	IS-632		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tada[at-mark]jis.uec.ac.jp	

<b>【講義の狙い，目標】</b>
本講義では、実働している各種ソフトウェアを対象に、その処理系の仕組みやプログラミング技法の解明を行う。対象となるソフトウェアは年度によって変わるが、オペレーティングシステムや言語処理系のような、いわゆるシステムソフトウェアを想定している。

<b>【内容】</b>
今年度は、オペレーティングシステムの理解に必要な諸概念（プロセス、メモリ管理、割込み、入出力、ファイルシステム）を概観する。また、実際のオペレーティングシステムのソースコードを覗き見て、その雰囲気味わう。一般的なオペレーティングシステムの講義に比べると、少し実現法に重きを置いたものになる予定である。

<b>【教科書，参考書】</b>
特になし。（講義中に適宜、指示する。）

<b>【予備知識】</b>
特別な予備知識は要求しない。ただし、C言語のプログラムを眺めることになるので、C言語もしくはPascalなどのプログラミング言語の雰囲気が分かっている必要はある。プログラミングするわけでは無いので、言語の詳細までを理解している必要はない。

<b>【演習】</b>
なし。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準】

学期末の試験による。基本的には試験だけの一発勝負。  
ただし、試験の成績の悪い学生に対しては、出席点を加味する。

### 【その他】

講義中の私語は、他人に迷惑をかけるので禁止（即、退場）。  
飲食は節度があれば可。